

チェックリスト

- (1) 実験方法は配線図を示して説明する。
- (2) 測定したデータをすべて表にまとめる。各表にコイルに流した電流値を明示する。
- (3) 単位のある物理量には必ず単位をつける。
- (4) 表には表番号と表題をつける。同一の表題があってはいけない。ガイダンス時に配布された表・図の書き方に従う。
- (5) 測定したデータをすべて図にする。縦軸、横軸の物理量の名称と単位を示す。同一図上に複数の曲線を示すときはその違いを明示する。
- (6) 図には図番号と図題をつける。同一の図題があってはいけない。ガイダンス時に配布された表・図の書き方に従う。
- (7) 実験値は線で結ばないプロットのみ、理論値はプロットを打たない線のみにする。
- (8) 中心軸上の理論値を求め、実験結果と比較する。有効数字に注意する。
- (9) エクセルなどの表計算ソフトの値をそのまま信用せず、少なくともどこか1つの点に対して、電卓などを用いて自分で計算し、計算例として、その結果を示す。
- (10) 課題で問われていることにすべて答える。図だけでなく、文章で説明する。